

◆ 研究分野	・応用健康科学
◆ キーワード	・食品汚染 ・有害化学物質 ・発がん性 ・変異原性 ・たばこ
◆ 産業界での応用の可能性等	・食品・嗜好品等の安全性評価 ・健康増進法に基づく受動喫煙対策に関連する商品開発
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・生活環境中の有害化学物質の毒性試験及び化学分析 ・関連する試験手法の開発・応用
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・2008年4月に開設されたばかりだが、エームス試験など変異原性試験を実施する設備・機器を準備中
◆ 関連の知的財産等	・特になし
◆ 所属学会	・日本環境変異原学会 ・大気環境学会 ・日本獣医師会 ・日本薬学会 ・室内環境学会

研究紹介 (概要)

食品および嗜好品(たばこなど)の安全性に関する研究

2008年4月生命・環境科学部開設と同時に誕生したばかりの新しい研究室ですが、それまで21年間厚生労働省の研究機関(国立公衆衛生院～国立保健医療科学院)で生活環境中の有害化学物質に関する研究業務に携わってきました。

大学の研究室では、食品や嗜好品の安全性について、主に化学的側面から研究を進めていきます。

主な研究課題は、

- ①食品中のがん・変異原性物質
- ②有害化学物質の変異原性試験手法
- ③食品中の有害化学物質分析
- ④嗜好品(たばこなど)の安全性 などです。

厚生労働科学研究費(第3次対がん総合戦略研究事業)「たばこ規制枠組条約に基づく有害化学物質等の新しい国際標準化試験法に関する研究」で研究代表者を務めておりました。

<http://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do>



社会、産業界へのPR

厚労省時代、生活環境中の汚染物質測定マニュアルの作成に関わってきました。また現在、日本薬学会環境・衛生部会空気試験法専門委員も勤めておりますので、食品ばかりでなく、シックハウスなど室内空気汚染問題や、広く生活環境全般の有害化学物質について対応可能です。

たばこ問題、受動喫煙対策、変異原性試験のことならお任せください！

職名	准教授		
氏名	遠藤 治		
ローマ字	ENDO OSAMU	学位	獣医学博士
所属学部等	生命・環境科学部	所属学科等	食品生命科学科
所属研究室等	食品安全性学研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/lab/lf_02.html